

# 令和3年度 学校評価報告書

学校番号(小54) 長崎市立(南陽小)学校

## 1 教育目標

「いい顔 いい声 いい心」  
～「遊ぶ・働く・学ぶ」の共通実践を通して～

## 2 学校経営方針

- めざす学校像
- みんなで楽しさをつくる学校
- めざす子ども像
- よく遊ぶ子供 よく働く子供 よく学ぶ子供
- めざす職員像
- よく遊ぶ教師 よく働く教師 よく学ぶ教師(学び続ける教師)

## 3 重点目標

- 確かな学力の向上(学力向上)
  - ・主体的,対話的で深い学びの視点からの授業改善の実現
- 豊かな心の育成(健やかな心と体)
  - ・道徳教育の充実
  - ・基本的生活習慣の定着
- たくましい心と体の育成(健やかな心と体)
  - ・健康な体づくりについての指導
  - ・安全教育の徹底

## 4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	96	95	100	おおむね満足できる評価である。組織運営は昨年よりも20ポイントも上昇し適切に機能していることが伺える。行事の精選,日課表の変更,校務の縮減・効率化等,さらに校務支援システムの活用で業務の改善を推進していきたい。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	92	95	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			94	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			88	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	94	91	69	おおむね満足できる評価である。「ルールやマナーが身についている」「挨拶をよくしている」の教職員と児童・保護者の評価が乖離している。これは、教職員の基準と児童・保護者の基準の違いだと考えられる。集会や通信,懇談会等を通して,身に付けさせたい力を共通理解し,改善していきたい。人権や平和について児童の達成率が高いことは大変喜ばしい。
		挨拶をよくしている	94	83	94	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	69	74	69	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	95	84	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	95	71	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	100	90	94	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	100	86	88	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	97	92	94		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	93	88	88	「学力の定着・向上」に向けて熱心に取り組んでいると,三者とも高い評価をしている。校内研修の成果としての国語科だけでなく,全教科で表出することを意図的に取り入れた授業実践をしている。今後も主体的で深い学びとなるように研鑽を重ねていきたい。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	96	90	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	91	77	94	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	84	73	75	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		95				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	94	93	100	おおむね満足できる評価である。栄養職員が食育指導を、養護教諭が健康教育を積極的に指導実践しており、三者ともに評価が高かった。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	82	85	75	
		体力向上に努めている	82	84	56	
	食育	食に関する教育活動を行っている	85	91	94	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	91	94	100	おおむね満足できる評価である。栄養職員が積極的に食育指導を、養護教諭が健康教育を指導実施しており、三者ともに評価が高かった。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	91	88	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	68	85	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	86	88	69	校舎を含めた設備は古くなってきている。安心安全で使いやすい環境になるように努めていきたい。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○保護者からの評価は全項目において、ほぼ8割以上の良好な評価を受け、家庭からの信頼が高いことが分かった。  
 ○教職員の評価は、ほとんどの項目において8割以上の良好な自己評価をしており、高いレベルで職務を遂行していることが分かった。生活指導面での評価が低く、児童・保護者への意識改革をしつつ、生活の基盤であるモラルの向上、ルールを守ることが徹底させていきたい。  
 ○体力向上のポイントが低いのは、コロナの影響が大きいと考えられる。  
 ○児童の評価はほとんどの項目において、8割以上の良好な自己評価をしており、全体として多くの児童は自己肯定感・自己有用感をもっていることがわかった。これは、全職員が子どもたちを様々な教育場面の中で、励まし褒めて自信をもたせながら指導・支援をしてきた成果である。

## 6 学校関係者評価

○今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、紙面による学校評価関係者会議となった。特に学校への連絡はなかったことから、概ね評価されたと受け取っている。

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○これからも学校・保護者・地域が協力し合いながら、より良い学校経営を進めていく所存である。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。